



風っ子・環境キャンペーン

高崎市

地植え+肥料でフサフサの グリーンカーテンに

佐野学童保育クラブ

毎年大好評だった週刊風っ子のゴーヤ苗の無料配布ですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにやむなく中止。代わりに苗を受け取り、グリーンカーテンづくりに挑戦したのが、県内で活動していることもエコクラブ、学童クラブ、こども食堂のお友だちです。

そのひとつ、佐野学童保育クラブ（下之城町）では、見た目にも涼しいフサフサのカーテンができてきました。「今まで、ヒョウタンやゴーヤで挑戦してききましたが、こんなに元気に育つたのは初めて」と声を弾ませるのは、指導員の大塚ひとみ先生。今までプランターから地植えに

したり、ネットの設置場所を変えたりと工夫を重ねましたが、大きくならなかったり、一本だけぐんと伸びたりで納得のゆくカーテンができずにいたそうです。今年、肥料をたっぷりまいて土づくりから取り組みました。成長を見ながら途中で追肥をしたり、孫づるを横に誘引したりするとこの通り！グリーンカーテンがかかっている部屋は、遮光カーテンを引かなく

ても涼しくて良い気持ち。「全部の窓に作りたいくらい」と重野央紀先生も笑顔で話します。「思った以上に成長が早くてびっくり」と言うのは山口颯太さん（小3）。家でもグリーンカーテンを育てている吉野葵さん（同）は「実がなり始めた」と得意顔。相川夏穂さん（小4）は「ゴーヤは苦手だけど自分で育てたから食べてみようかな」と、新たな挑戦に目を輝かせていました。



13本の苗がこんなに立派なカーテンに！「ゴーヤは涼しいし、実をもなるのでうれしい」と話す児童と指導員



室内はほどよくヒンヤリ。見た目も涼しそう

佐野学童保育クラブ

まつだまさあき
松田正明運営委員長 105人
高崎市下之城町874
TEL.027-326-5650

さのしょうがっこう
佐野小学校の1～4年までが仲良く過ごす学童クラブ。保護者の協力を得て、縁日や遠足などの楽しいイベントを開催しています。



群馬県のマスコット
「くまちゃん」
許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

短時間で大雨が降る日が増えています。温暖化由来の災害にも備えましょう

温暖化と関連して大雨の日が増えている印象がありますが、「気候変化レポート2018」（2019年3月 東京管区気象台）によると、群馬県でも1時間降水量50mm以上の発生回数は今後増加すると予想されています。大雨の回数が増えると、浸水、洪水、土砂崩れ等の災害が起こりやすくなります。各自治体では「防災マップ（ハザードマップ）」を作って配付しているので、これを見て、我が家で必要な対策を考えて準備しておきましょう。（これもエコ活動）

群馬県環境アドバイザー 金子昭一

風っ子・環境キャンペーンを応援します